

愛犬と
ママのオマンコ
争奪戦！！

「おいっ！！モモッ！モモったらあ！！」

嬉しそうに尻尾を振って愛犬のモモが駆けてきたのは、ママのお口。

お口と言っても、下のお口だ。

「ハアハア…ハアハアハア…」

とっても興奮しているモモ。

そしてママの下のお口、“オマンコ”に到着するや、

「チュブロッ！！ペチュパッ…チュブチュパチュパ…ハアハア」

長い舌を目一杯伸ばし、先端を上下に動かして懸命にママの穴を舐めすする。

「あっ！先を越されちゃったあ！」

僕は一足先に食べられた“今夜のデザート”に悔しさを漏らした。

ママの穴は僕の穴なんだ！

ママはムチムチの太ももを目いっぱい広げ、ソファの上に座ってファッション雑誌を読んでいる。

ミニスカートの下には何も穿いていない。

モモに思うがまま舐められていることを気にもかけず、軽く顎に手を当てながら、

「へえ…んっ…こんな風にストールを合わせるのも…んっ…いいかも…んっ」

なんて言いながらペラペラとページをめくる優雅なママ。

これは当たり前前日常行為なのだ。

だけど、

「んっ…そ、そうねえ…どうしようかしら…んはっ…ん…ううん…」

気にしない素振りをしているが、感じているのをママは隠しきれていない。

体験版はここまでです